

Diamond™ Nucleic Acid Dye

INSTRUCTIONS FOR USE OF PRODUCTS H1181

プロトコール

<ご用意いただくもの>

- プラスチックの染色用トレイ
- 希釈バッファー (TE, TAE または TBE バッファー)、pH7.0-8.5

注) 水では絶対希釈しないでください。

<1X 染色液の調製>

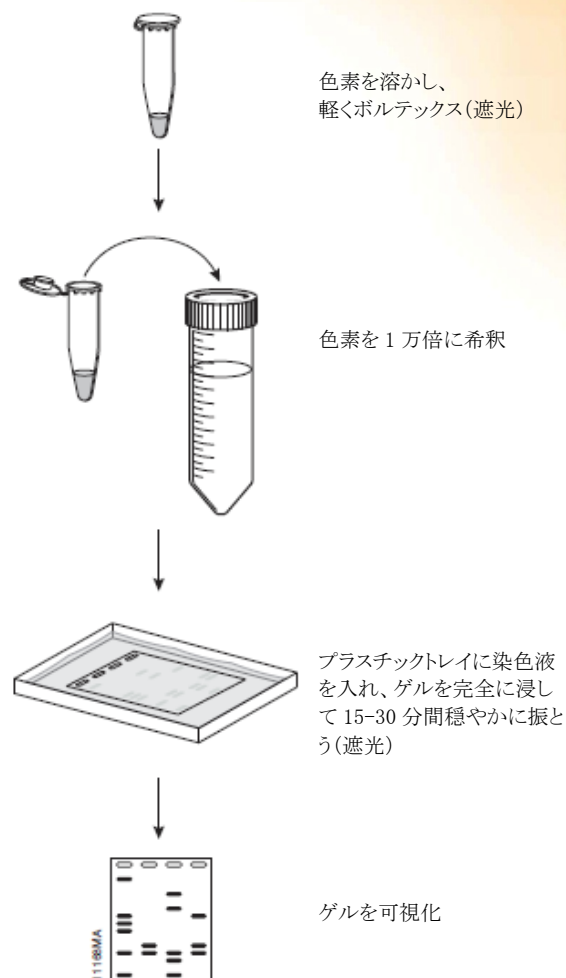
1. Diamond™ Nucleic Acid Dye を遮光して室温(22-25℃)で完全に溶かす。Vortex で混合する。
2. Dye を TE, TAE または TBE バッファーで 1:10,000 に希釈する。
注) 最適な結果を得るため、Dye の希釈バッファーはゲル作製に用いたものと同じバッファーをお使いください。

<ゲルの染色>

1. 電気泳動後、ゲルをプラスチックの染色トレイに入れ、ゲルが完全に浸る量の染色液を注ぐ。
注) ピペットチップ箱のフタ、または同じサイズのプラスチック容器が使いやすい染色トレイです。**ガラス容器は使用しないでください。**
2. ゲルを染色液に浸し、遮光して室温(22-25℃)で 15-30 分間オービタルシェーカーなどで穏やかに振とうする。染色時間はゲルのサイズ・厚さ・アガロースまたはポリアクリルアミド濃度によって調節する。

<ゲルの可視化と撮影>

1. UV トランスイルミネーター、UV 落射イルミネーター、または~495nm で励起できるゲルイメージャーでゲルを可視化する。
2. ゲルを 558nm が検出できるゲルイメージャーで撮影する。デジタルカメラを使用する場合は、500nm カットオフフィルターを使用する。



Q&A

Q. Diamond Dye をゲルに添加したり、DNA と混ぜて電気泳動するプロトコールはありますか？

A. 電気泳動像が乱れるため、ゲルに添加したり、DNA と混ぜて電気泳動することは推奨しません。ただし、用途によっては DNA 濃度を低くすれば使用できます。目安は 10ng/バンドです。

Q. Diamond Dye は水で希釈できますか？

A. 必ず pH7.0-8.5 のバッファーで希釈してください。水で希釈すると速やかに退色します。

Q. 染色液は再利用できますか？

A. 3 回まで、または遮光して室温で 3 日まで再利用可能です。

Q. EtBr 用のフィルターセットで検出できますか？

A. 検出可能です。

Q. SYBR Gold 用のフィルターセットで検出できますか？

A. 検出可能です。Diamond Dye の蛍光スペクトルは SYBR Gold とほぼ同じです。

Q. 変異原性はありますか？ どのように廃棄したらいいですか？

A. 試験機関で実施した変異原性試験 (Ames MPF テスト) の結果、変異原性が低いことが確認されました。各施設・自治体の基準に従って廃棄してください。

